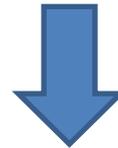


計画期間について

第4次総合計画

基本構想	10年間	
基本計画	前期計画 5年	後期計画 5年



より柔軟な計画へ

第5次総合計画

基本構想	10年間	
基本計画	10年間(必要に応じて随時見直し)	

【見直し理由】

- 社会経済情勢の変化、市長選挙の公約を反映できる
- 見直すタイミングに柔軟性がある
- 必要な部分のみを見直すことができる
- 中長期的な視点で施策を検討できる
- 計画見直し時にかかる時間、労力、経費が効率化できる

【懸念点】

- 見直すタイミングが不明瞭
- 進捗管理が10年となるのは長い

【対応策】

- 社会経済情勢の変化、市長任期のタイミングで見直し
- 目指す目標数値を設定し、進捗管理